

取締役会議長メッセージ



真のグローバル企業への変革に向け、 ガバナンスの強化に努めてまいります。

この1年、先般5月に発表した新中期経営計画（MTP2025）などの非常に重要な案件が多くありましたが、谷内CEOをはじめとし、取締役会においては厳しいながらも自由闊達な議論・意見交換を行い、迅速かつ適切な意思決定を行うことができたと考えています。私は取締役会議長として今年度も取締役会の実効性を高め、経営の透明性・客観性のさらなる向上を目指します。

2021年度は、眼科医療用医薬品としての基盤事業の価値最大化を図りながら、過去に経験のない分野にも挑戦する新たな中期経営計画の実行初年度です。特に、新規領域における研究開発や投資案件を議論していく中で、「監督機能」の側面からのモニタリング体制の強化がこれまで以上に重要になってきます。当社の取締役会は、少人数ながらライフサイエンス事業からグローバル経営、ESG・社会貢献に至るまで幅広いバックグラウンドを有するメンバーで構成されています。執行側には情報の適切なインプットを求めながら、積極的に戦略議論を深めたいと考えています。

Santenは「真のグローバル眼科企業への変革」を目指します。「企業価値、株主価値向上のための経営の透明性・客観性および適正性」確保が当社のガバナンスの基本的な考え方ですが、これからもビジネス環境の変化に合わせて、ガバナンスを絶えず変革し続ける必要もあります。投資家をはじめとするステークホルダーの皆さまとの対話を通じ、いただいたご意見を真摯に受け止めながら、より一層ガバナンスの進化に取り組んでまいります。

代表取締役会長

黒川 明